

授業科目名	学校経営と学校図書館(2100501)		
時間割名	学校経営と学校図書館(55103)		
時間割担当	鎌田首治朗		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	金・5		

授業の目標・概要

学校図書館は、学校の中に位置するものであるから、学校経営と切り離して考えることはできない。この講義では、学校教育における学校図書館の歴史と現状、その理念、学校教育に果たす役割、教育行政との関係、経営のあり方、司書教諭の任務と役割など、学校図書館を理解するうえで必要な基本的内容について学校経営との関係に留意しながら把握することをねらいとしている。

学習の到達目標

学校図書館が学校教育に果たす役割、教育行政との関係、経営のあり方など、学校図書館の基本的内容について理解することができる。

授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、よりよい指導法などに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 学校教育と学校図書館
- 第3回 学校図書館の歴史
- 第4回 学校図書館の現状と今日的役割
- 第5回 教育行政・学校図書館法と学校図書館
- 第6回 教育課程と学校図書館
- 第7回 学校経営と学校図書館
- 第8回 学校図書館の経営
- 第9回 学校図書館のメディア
- 第10回 図書館協力とネットワーク
- 第11回 学校図書館の施設・設備
- 第12回 学校図書館の活動(1):基本的な活動
- 第13回 学校図書館の活動(2):特別な支援を必要とする児童生徒に対する活動
- 第14回 学校図書館の評価と改善
- 第15回 これまで学んだことを振り返り、まとめを行う。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(30%)さらに、学習指導案、図書館利用計画の作成の緻密さなどを評価する。(30%)さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

授業時間外の課題

- 1.テキストを読み、疑問については熟読したり調べたりして解決する。
- 2.学習指導案や、図書館活用計画などのモデルを関連図書などから取り出ししておく。
- 3.学校図書館に実際に足を運び、それぞれの工夫や特徴についてまとめる。

メッセージ

講義時間内に伝える。

教材・教科書

全国学校図書館協議会編『学校図書館・司書教諭講習資料(第7版)』全国学校図書館協議会,2012年
 鎌田首治朗『真の読解力を育てる授業』図書文化社,2009年

参考書